

独立行政法人 日本学生支援機構奨学金【貸与奨学金】

概要

この奨学金は、学力、人物とも優秀であり、経済的理由により修学困難と認められる学生に奨学金を貸与することにより、教育の機会均等に寄与することを目的としています。
貸与型奨学金のため返還の義務があり、卒業後に必ず返還しなくてはなりません。

※以下では貸与型の奨学金についてのみ説明しています。高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）については、P.10に掲載しています。

◆在学採用 … **第一種奨学金**（無利子貸与）と **第二種奨学金**（有利子貸与）があります。

第一種奨学金（無利子貸与）

募集時期	4月上旬（学生部 Web サイト、Port Hepburn、掲示板を確認すること）	
貸与月額 （右記から選択）	2018 年度以降入学生	
	自宅通学	自宅外通学
	20,000 円	20,000 円
	30,000 円	30,000 円
	40,000 円	40,000 円
	54,000 円 ※	50,000 円
		64,000 円 ※
貸与期間	最短修業年限内	
利 子	無利子	
返 還	卒業後、日本学生支援機構の定める方法により返還	
採用者数	2024 年度においては申請者のうち機構が定めた基準を満たした者は全員採用	

※下線付きの月額は、家計支持者の年収が一定の条件を満たす方のみ選択可能です。条件を満たさない場合は希望どおりの月額とならないことがありますのでご注意ください。

第二種奨学金（有利子貸与）

募集時期	4月上旬（学生部 Web サイト、Port Hepburn、掲示板を確認すること）
貸与月額 （右記から選択）	20,000 円、30,000 円、40,000 円、50,000 円、60,000 円、70,000 円、 80,000 円、90,000 円、100,000 円、110,000 円、120,000 円
貸与期間	最短修業年限内
利 子	有利子（利率は貸与終了時に決定。利率上限年 3%） P.14②も参照
返 還	卒業後、日本学生支援機構の定める方法により返還
採用者数	2024 年度においては申請者のうち機構が定めた基準を満たした者は全員採用

◆応募資格 … ①学力基準、②家計基準の両方を満たしている必要があります。

①学力基準

学 年	対象となる成績	第一種奨学金	第二種奨学金
1 年次生	(4 月募集) 高校成績※1	評定平均 3.5 以上※2	学年平均水準以上
	(9 月募集) 高校成績	評定平均 3.5 以上※2	学年平均水準以上
	(9 月募集) 大学成績	各学年学科 上位 3 分の 1 以内※2	春学期までの取得単位数が 標準単位数を満たしている
上級生	大学成績	各学年学科 上位 3 分の 1 以内※2	前年度までの取得単位数が 標準単位数を満たしている

※1. 1 年次生は、高校成績の基準に満たなくても入試成績等、機構が定める特例により推薦可能な場合があります。

※2. 2017 年度以降に入学した方は、生計維持者が住民税非課税などの場合はこの通りではありません。
詳細は別冊子『[2025 年度在学者用 貸与奨学金案内 \(大学等\)](#)』を参照してください。

②家計基準 (生計維持者の収入金額が対象。下表は目安であり、上限額は世帯人数や状況で異なる。)

収入・所得の上限額の目安 (単位：万円)

世帯人数	生計維持者が給与所得者の世帯			生計維持者が給与所得者以外の世帯		
	第一種	第二種	併用貸与	第一種	第二種	併用貸与
2 人	777	1,180	722	559	905	513
3 人	732	1,127	677	550	891	503
4 人	880	1,309	826	613	937	566
5 人	972	1,387	911	678	1,003	646

※上表の金額は前年度の奨学金案内より引用しています。

詳細は、別冊子『[2025 年度在学者用 貸与奨学金案内 \(大学等\)](#)』を参照してください。

◆保証制度 … **人的保証**と**機関保証**の 2 つがあります。申込時にどちらかを選択します。

	人的保証	機関保証
保証者	連帯保証人と保証人各 1 名が必要 ※1	保証機関(日本国際教育支援協会)
申込時 手 続	連帯保証人、保証人の承認を得て スカラネット入力用紙に記入し 後日 Web 入力	スカラネット入力用紙に記入し 後日 Web 入力
採用時 手 続	連帯保証人の「印鑑登録証明書」 および「収入に関する証明書」、 保証人の「印鑑登録証明書」を提出	「保証依頼書」を提出
保証料	なし	毎月の奨学金貸与額から天引き (返還 金額は保証料を含む貸与額総額) ※2
本人延滞時 の返済	本人に代わり連帯保証人、保証人の順に 返済の義務を負う	本人に代わり保証機関が代位弁済、 その後保証機関が本人に請求

※1. **連帯保証人**：原則として父母またはそれに代わる方。

保 証 人：本人・連帯保証人とは別生計で父母を除く 4 親等以内の成人親族かつ採用時に原則 65 歳未満の方。

※2. 保証料の目安は、別冊子『[2025 年度在学者用 貸与奨学金案内 \(大学等\)](#)』を参照してください。

◆返還 … 卒業後に返還。「月賦返還」と「月賦・半年賦併用返還」の2種類があります。

第一種奨学金 【月賦返還の例】（貸与期間：48 ヶ月）

通学形態	貸与月額	返還総額	返還月賦額	返還回数(期間)
自宅	54,000 円	2,592,000 円	14,400 円	180 回(15 年)
自宅外	64,000 円	3,072,000 円	14,222 円	216 回(18 年)
自宅・自宅外	30,000 円	1,440,000 円	9,230 円	156 回(13 年)

・猶予年限特例

第一種奨学金の貸与を受ける学生のうち家計状況が特に厳しい世帯の学生を対象とし、奨学金の貸与終了後、一定の収入を得るまでの間、願い出により返還期限を猶予する制度です。

・所得連動返還方式

年収に応じた返還月額により返還する制度で、新規に第一種奨学金の貸与を受ける場合に選択できます。保証制度は機関保証の選択が必須となります。

第二種奨学金 【月賦返還の例】（貸与期間：48 ヶ月）

①利率 3.0%（制度上の上限利率、利率固定方式・定額返還・人的保証）と仮定した場合

貸与月額	貸与総額	返還総額 (元金+利息)	返還月賦額	返還回数(期間)
30,000 円	1,440,000 円	1,761,917 円	11,293 円	156 回 (13 年)
50,000 円	2,400,000 円	3,018,568 円	16,769 円	180 回 (15 年)
80,000 円	3,840,000 円	5,167,586 円	21,531 円	240 回 (20 年)
100,000 円	4,800,000 円	6,459,510 円	26,914 円	240 回 (20 年)
120,000 円	5,760,000 円	7,751,445 円	32,297 円	240 回 (20 年)

②利率 1.440%（2025 年 1 月時点 利率固定方式・定額返還・人的保証）と仮定した場合

貸与月額	貸与総額	返還総額 (元金+利息)	返還月賦額	返還回数(期間)
30,000 円	1,440,000 円	1,589,940 円	10,192 円	156 回 (13 年)
50,000 円	2,400,000 円	2,686,814 円	14,927 円	180 回 (15 年)
80,000 円	3,840,000 円	4,448,778 円	18,536 円	240 回 (20 年)
100,000 円	4,800,000 円	5,560,996 円	23,170 円	240 回 (20 年)
120,000 円	5,760,000 円	6,673,229 円	27,804 円	240 回 (20 年)

※第二種奨学金返還額

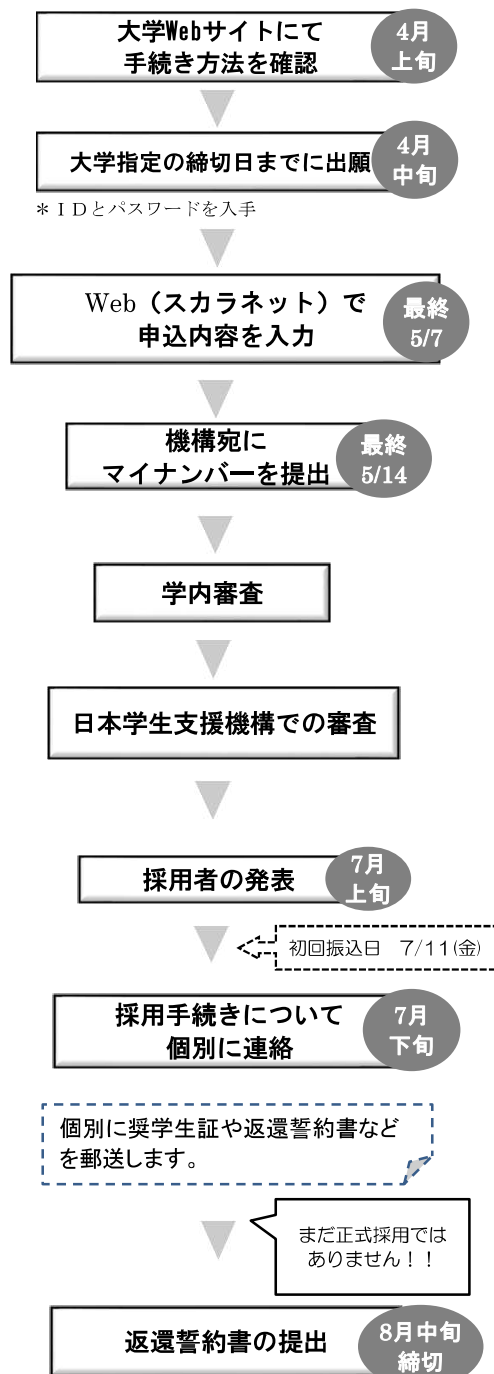
貸与終了月の利率を元に算定される為、実際の返還額は上記の金額と異なります。

◆緊急・応急採用 … 「緊急採用」（第一種奨学金）と「応急採用」（第二種奨学金）があります。

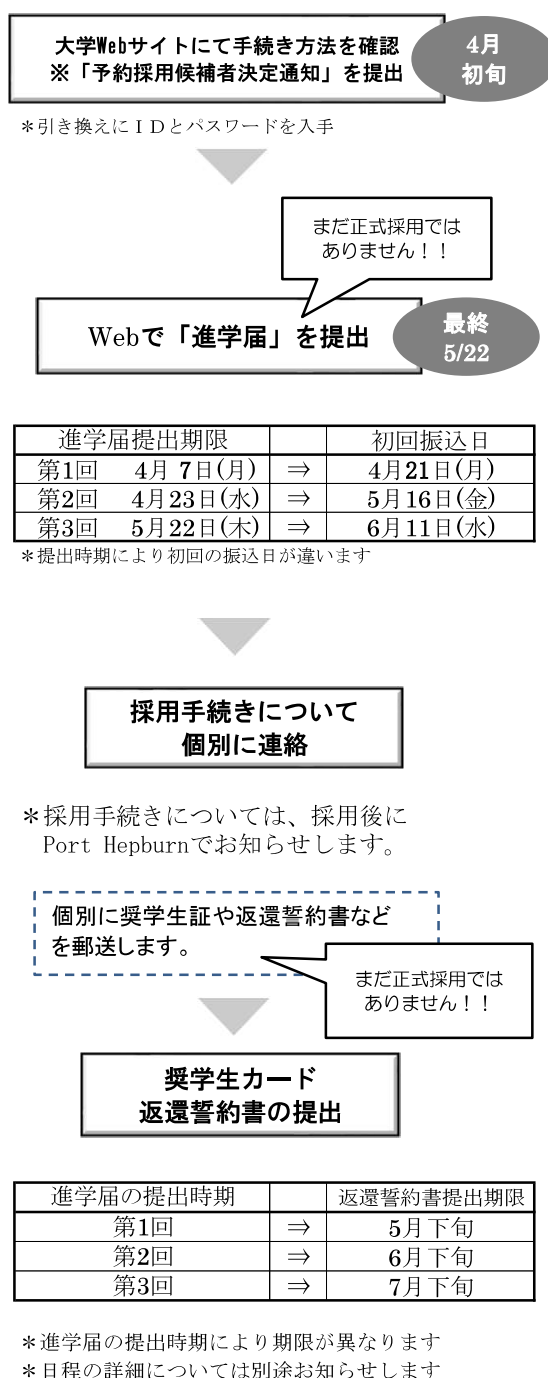
家計の急変（家計を支えている方の失職、病気、破産、災害による被災等）により緊急に奨学金を必要とする場合は、随時学生課窓口で相談してください。

◆申込みから採用までの流れ

《大学からの新規申込者》



《高校からの予約採用候補者》



正 式 採 用

期日までに返還誓約書を提出しないと・・・

奨学金の振り込みは止められ、採用は取り消されます。

加えて、それまでに振り込まれた奨学金を直ちに一括で返戻しなくてはなりません。

Port Hepburnを定期的に確認し、

返還誓約書の提出を期日までに必ず行ってください！！

◆【貸与奨学金】採用から返還開始までの手続きについて

